

令和元年 5月28日(火)

ネットモラル学習講演会 ～ インターネットモラルについて ～

28日7限目、第1体育館において「ネットモラル学習講演会」が開催されました。株式会社四国テクニカの高橋浩様（S62年3月 本校情報技術科卒業）を講師に招き、『インターネットモラルについて』というテーマで講演を行っていただきました。

まず、『SNS』は、Social Networking Siteの略称であり、友人や家族の身近なつながりから世界中のグローバルなつながりまで交流することができるツールであることを確認しました。「LINE」「Twitter」「Instagram」「Facebook」などが挙げられ、多くの年齢層の人が利用していますが、使い方を誤ると大きな問題に発展してしまいます。また、SNSに投稿する際の注意点と不適切な投稿が引き起こす惨事を具体的に教えていただきました。



講演をする高橋様

次に、SNSのトラブルや事件に巻き込まれないためのお話をいただき、個人情報や安易に載せないことや、ネット社会におけるモラルと責任について助言していただきました。

最後に、生徒を代表して生徒会役員の吉村菜々さん（電子機械科3年）が「ネットモラルについて再度学び、自分のSNSの使い方を見直す良い機会となりました。一度書き込んだ内容は簡単には消せないということを忘れず、これからも気を付けたいと思います。本日は本当にありがとうございました。」とお礼のことばを述べました。講演を通して学んだネット社会におけるモラルをしっかりと持ち、SNSと上手く向き合い、安全で楽しい交流をしましょう。

写真掲載時の注意

「情報セキュリティの倫理に対する意識調査」では「**他人と一緒に写った写真を勝手に自分のブログに投稿する**」が最も問題視された。投稿時にはExif（エグジフ）のGPS情報の有無を確認すること

一緒に写っている人には事前に投稿への許可を得ること

と感じていない

公開する必要のない写り込みは特定できないように加工をすること

写真掲載による情報漏洩

GPS機能のついたスマートフォンやデジタルカメラ

写真に撮影日時、撮影した場所の位置情報など意図しない情報が含まれることがある。

自分の自宅や居場所が他人に特定

被害に合わないために、写真には付加情報を付けない設定をしましょう。

プライバシー情報の取り扱いに気を付けましょう

こんなこと書いていませんか？

投稿された内容はスクリーンショットを撮られ、悪用されるリスクがあることを忘れないでください。

個人を特定できるような書き込みは、本人の許可を得て、かつ公開範囲を限定するなどの対策が必要です。

□（四角の） 既読

写真や動画を他人に渡す際の注意

特定の相手に写真や動画を渡すことは、インターネットに公開することと同じ。

データを所有しているだけでもウイルス感染等により外部に流出する可能性あり。

インターネットに公開されて困るような写真や動画は、そもそも撮影しないことが賢明。

噂は、人の噂

悪口は尾ひれがつくのが世の中の常

何処かで、都合のいいように変換されて、事実とは異なることが日常茶飯事

人の噂は話半分で聞く

自分の目、耳で確かめる迄は信用してはならない。

SNSのモラル

他人の悪口を言わない

安易な気持ちで自分や他人の顔写真をのせない

仲間はすれにして特定の人をグループから強制退会しない

わいせつな写真や内容を投稿しない

ウソの情報や事実かどうか分からない情報を広めない

使用されたスライド資料（抜粋）